生活クラブ行動原則

Think & Act　行動原則

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1. 食の安全を追求します。 |  | 6. 自然資源を大切に使います。 |
| 生産から廃棄まですべての過程において、添加物や農薬をできる限り減らすなど、安全性を追求します。また、徹底した放射能検査を継続します。健康や環境に与える影響についての情報を積極的に公開します。 |  | 水・土壌・森林といった再生可能な自然資源を持続的なかたちで使用します。石油など化石資源原料由来のプラスチック等は、再生可能な代替原料を選ぶなどして、次世代につなげていけるよう節減に取り組みます。 |
| 2. 健康な食べ方を大切にします。 |  | 7. 温室効果ガスの排出削減をめざします。 |
| 健康に育ったいのちを、感謝とともに大切にいただきます。食材の栄養や調理、食べ方についての知識や技術をみんなで共有し、明日への元気につなげます。 |  | 省資源・リユース・リサイクルを通じてごみを減らし、資源循環による温室効果ガスの排出削減をめざします。また、廃棄物の処分も、より安全で信頼できる方法を選びます。 |
| 3. 国内自給力アップをめざします。 |  | 8. 再生可能エネルギーを推進し、原発のない社会をめざします。 |
| 種やエサ、加工原料に至るまでの国内自給を追求することで、“生命の産業”である「農林業」「漁業」「畜産業」を振興します。消費者と生産者が一体となって、食の自立・地域環境の保全に取り組みます。国内外を問わず、人権に配慮し地域を大切にした生産と消費をすすめます。 |  | 長期的な視点を持ち、エネルギーのムダ使いを積極的に減らします。消費者と生産者が力を合わせ、安全で持続可能なエネルギーを生産し、使用します。 |
| 4. 遺伝子操作を行なった食物を認めません。 |  | 9. おたがいにたすけあう社会をめざします。 |
| 企業による種子の独占を招き、また生物の多様性を破壊する遺伝子操作を行なった食物、飼料、添加物を認めません。やむを得ず使用する場合は情報を公開します。 |  | 地域の中で安心して子育てや介護ができるしくみづくりに取り組みます。貧困と孤立を見過ごさず、おたがいにたすけあい、学びあい、支えあう活動をひろげます。 |
| 5. 有害物質ゼロをめざします。 |  | 10. 誰もが安心して暮らせる場やしくみをつくります。 |
| 健康や環境をおびやかす有害物質の使用・放出を減らします。せっけんの利用をすすめるなど、有害物質ゼロへ向けて、継続的に活動していきます。 |  | 年齢、性差、障がいの有無などに関わらず、誰もが安心して暮らせる場やしくみをつくります。違いを認めあい、多様なあり方や働き方が可能な地域や社会をみんなで実現します。 |
| 11. 自分たちで決めて、自分たちで実行します。 |  |  |
| 生活クラブは一人ひとりが主役です。組合員に関わる情報は大きなことから小さなことまですべて公開・共有します。その情報をもとに、自分たち自身で考え、決め、実行します。 |  |  |

2023年6月